

お腹の不調続いていませんか？

炎症性腸疾患外来（IBD外来）

【土曜日】 開設のお知らせ

炎症性腸疾患とは？

- ・潰瘍性大腸炎やクローン病など、腸に慢性的な炎症が起こる病気です。
- ・特に10代～40代の若い世代に多く、早めの診断と専門的な治療が大切です。

近年わが国では、下痢や血便、腹痛などの症状で知られる潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の患者さんが増加の一途をたどっています。これらの病気は10～20代の若い年代で発症し、慢性の経過をたどる方が多いため入院や通院などの治療により学生生活や進学、就職に支障をきたしてしまう場合があります。

今回さいたま市民医療センターでは、炎症性腸疾患の患者さんのために、令和8年3月より炎症性腸疾患外来（IBD外来）を開始いたします。



《当センターの「IBD外来」の特徴》

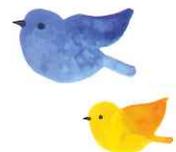
- ・IBDに精通した消化器内科の専門医による指導
- ・症状や生活背景に配慮した丁寧な説明
- ・土曜日の診察（※詳細はお問い合わせください）

〈対象者〉

炎症性腸疾患と診断された方

【受診方法のご案内】

- ①当センター通院中の方→現在の主治医へご相談ください。
- ②上記以外の方
かかりつけ医の先生にご相談の上、紹介状をご用意ください。
ご用意ができましたら、予約センターで電話予約をお願いします。



☎【予約センター】 048-799-5151（月～土）9時～17時

 **さいたま市民医療センター**

〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根299-1 TEL 048-626-0011（代表）

